

# ひまわり

1月号 神戸市立長田中学校

<https://www.kobe-c.ed.jp/ngt-ms/>

## 『手書きのぬくもり』

管理副部長 市道 颯馬

2023年も残すところあと少しとなりましたが、みなさんは新年に向けての準備を進めているところではないかと思えます。正月といえば思いつくものはたくさんありますが、恒例のものといえば年賀状でしょうか。みなさんの中にも新年のお祝いや日頃の感謝の気持ちを伝えようと、年賀状を書いている人も多いでしょう。

ところで、みなさんは年賀状の歴史をご存じでしょうか。諸説ありますが、年賀状の歴史は平安時代までさかのぼるようです。平安時代から今日まで年賀状の文化が続いていると考えると、とても不思議な気持ちになります。そして、年賀状を出すことが一般的に広がったのは、明治4年の郵便制度開始がきっかけであり、明治20年頃には年賀状の数も激増しました。徐々に全国に広がっていき、明治38年には約1億枚だった年賀状もピークの平成16年には44億5000万枚まで増えました。しかし、令和2年には約20億程度まで減少しているようです。

私が小学生のころは、自分で文字を書いて友達に送るといった行為がとても特別なことに感じ、学校の友人にたくさん年賀状を送りました。さらには、元旦に自宅のポストに胸を弾ませながら年賀状を取りに行ったのを覚えています。しかし、スマートフォンやSNSが普及した高校生の時期から、年賀状を送るといったことがめっきりなくなりました。スマートフォンだとその場で指先だけを使い、簡単にメッセージを送れるようになってしまったので、年賀状を買いに行き、時間をかけて丁寧に文字を書き、年賀状をポストに入れに行く、という行動が手間に感じてしまい、しばらく年賀状から遠ざかってしまっています。

しかし、私は手書きでメッセージを書くことは好きです。丁寧に書けば書くほど時間はかかりますが、その分、相手に思いが伝わる気がするからです。また、手書きの文字にはなんとも言えぬぬくもりを感じます。教師という仕事をしていると、手書きのメッセージを書いたり、逆に書いてもらったりする機会が多くあり、手書きの良さを感じることもよくあります。だからこそ、今年は久しぶりに一言でも手書きの文字を書いて年賀状を送りたいなど考えています。お世話になった方々への日頃の感謝の気持ちを、手書きの文字に込めて送ることで、良い新年を迎えられたらと思います。

今年もあとわずかですが、最後までよろしくお願ひします。

## 表彰の記録

- 令和5年度 第16回長田区優勝大会 女子バレーボール競技の部 優勝
- 令和5年度2学期全校読書会
  - ・感想文最優秀賞
  - ・感想画最優秀賞
- 税についての作文
  - ・長田納税貯蓄組合連合会長賞
- 第75回兵庫県幼・小・中造形教育展
  - ・入選
- 令和5年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール
  - ・銀賞

## 3学期個別保護者会についてのお知らせ

3月に行う予定にしておりました1・2年生の個別保護者会ですが、各学年の学年保護者会に変更いたします。学年保護者会終了後に担任と話す時間もありますので、ご相談等ありましたら、その際にお話しいただきますようよろしくお願いいたします。

日程等は決定し次第、お知らせいたします。